

第8回 ナレッジイノベーションアワード 中学生アイデア部門 応募要項

ナレッジイノベーションアワードは、ナレッジキャピタルから生まれる

多彩なアイデアによる「ナレッジイノベーション」の成果を

広く社会に発信する取り組みです。

次世代を担うイノベーション人材のアイデアを表彰し、スポットを当て、

広く社会に発信することを目的としています。

ナレッジキャピタル参画者による多彩な活動を対象とした

「ナレッジキャピタル部門」、中学生・高校生を対象に「未来の仕事」について

アイデアを募る「中学生アイデア部門」「高校生アイデア部門」で構成しています。

昨年度は、中学生・高校生あわせて5,717のエントリーがありました。

テーマ

未来の仕事を考える

応募資格

日本国内在住の中学生であること
(国籍は問いません)

応募方法

- 1 [お助けシート「好きを追求したら…」を読む。
- 2 [HOP:自分を見つめる]を記入する。
- 3 [STEP:未来を想像する]を記入する。
- 4 [JUMP:未来の仕事を考える]を記入する。
- 5 [着地:未来の仕事伝える]を記入する。
- 6 記入した応募用紙を事務局へ送付する。

郵送の場合 本応募用紙を封筒に入れて事務局へ郵送 ※応募用紙は返却いたしません。

送付先 ナレッジイノベーションアワード事務局 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪 ナレッジキャピタル7階 K708 株式会社スーパーフェスティバル内

Eメールの場合 デジタルデータを送信

送付先 kia@kc-i.jp 応募用紙記入面のスキャンデータ等を左記アドレスへお送りください。

※読める解像度、濃さであることを事前に確認してください。※メールの件名に「中学生アイデア部門応募」とご記入ください。※受信確認後、事務局より受付完了メールを送ります。ご応募いただいて3日以内に返信がない場合は、お手数ですが事務局までお電話ください。※メールサイズは5メガバイト以内でお送りください。※本応募用紙の各項目に書かれた内容を元に選考します。表現は、文章・イラスト・図・表など自由です。※ひとり何点でも応募可能ですが、1点あたり1枚の応募用紙でご応募ください。

GRAND PRIZE

グランプリ: 1名

ほしいものチケット
(5万円相当)

GRAND PRIZE RUNNER-UP

準グランプリ: 2名

ほしいものチケット
(3万円相当)

SECOND PRIZE

優秀賞: 4名

図書カード1万円分

HONORABLE MENTION

佳作: 10名

図書カード3,000円分

※ほしいものチケットとは、受賞者の「ほしいもの」を運送する未来応援チケットです。

選考基準

世の中の人を幸せにする仕事か

豊かな未来を想像させる仕事か

多くの人が興味をもつ魅力的な仕事か

日本全体、地域を活性化させる仕事か

選考委員長 河口 洋一郎

[東京大学名誉教授 / アーティスト / 一般財団法人デジタルコンテンツ協会会長]
コンピューターグラフィックスの世界大会「シーグラフ」で高く賞賛された世界的CGアーティスト。

一色 さゆり [小説家]
「このミステリーがすごい!」大賞を受賞し、美術館で学芸員として勤務しながら、小説家として活動を行っている。

伊藤 恵理 [東京大学大学院 工学系 研究科 准教授]
「空は一つ」をモチーフに、世界の空を駆けながら、空の旅の裏側に広がる航空管制を科学する研究者。

遠藤 諭 [株式会社角川アスキー総合研究所 首席研究員]
雑誌編集をはじめとして、ITからサブカルまで評論や執筆活動を行ってきた。

塩瀬 隆之 [京都大学総合博物館 准教授 / デザイン学ユニット / 学術研究支援室 参与]
問いのデザイナーとして、「伝わるとは何か」というコミュニケーションの根源的な問いを研究している。

村上 憲郎 [村上憲郎事務所 代表 / 元Google日本法人名誉会長]
Googleを始めとする外資系企業や日本企業などで経営に携わってきた。

安田 洋祐 [経済学者 / 大阪大学大学院経済学研究科 准教授]
ゲーム理論の観点から現実社会を分析し、様々な制度設計を研究している経済学者。

応募締切

2021年

1月14日(木)

※郵送は当日消印有効。Eメールは1月14日23:59まで受付。

公開パフォーマンス・最終選考会(予定)

2021年3月20日(土・祝)

書類選考を通過した17名の方には、3月20日(土・祝)グランフロント大阪にて開催予定の「ナレッジイノベーションアワード 公開パフォーマンス・最終選考会」にご招待いたします。また、上位入賞者7名には、当日応募内容のプレゼンテーションを行っていただき、各賞を決定いたします。

※書類選考の結果は、ウェブサイトにて2021年2月下旬に発表いたします。

応募規定

- 応募者は、応募の時点で本応募規定に同意するものとします。
- 応募作品につきましては、返却いたしませんので予めご了承ください。(応募時に各自コピーを保存されることをお勧めします。)
- 応募作品は、未発表のオリジナル作品のみとさせていただきます。
- 応募作品の取り扱い、管理には十分注意いたしますが、不測の事故による損傷については責任を負いかねます。
- 第三者の権利を侵害している作品は、選考対象外となります。
- また受賞後に発覚した場合は、主催者は、受賞の取り消し及び、副賞等の返却請求ができるものとします。

作品の使用及び著作権について

●応募作品は、オリジナル作品であることを条件とし、第三者の著作権、肖像権、商標権、及び個人のプライバシーを一切侵害せず、公序良俗に反しない作品にしてください。

●応募作品の著作権及び知的財産権は応募者本人に帰属しますが、主催者判断にてWebサイトや広報誌などでの公開、イベントでの展示に無償で使用することができるものとします。掲載・展示方法などにつきましては、作者との協議の上決定いたします。

主催：一般社団法人ナレッジキャピタル

後援：大阪府 / 大阪市 / 大阪府教育委員会 / 京都府教育委員会 / 奈良県教育委員会 / 三重県教育委員会 / 和歌山県教育委員会 / 兵庫県教育委員会 / 滋賀県教育委員会 / 大阪市教育委員会 / 京都市教育委員会 / 茨木市教育委員会 / 大阪私立中学校高等学校連合会 / 奈良県私立中学校高等学校連合会 / 兵庫県私立中学校高等学校連合会 / 京都府私立中学校高等学校連合会 / 三重県私学協会 / 滋賀県私立中学校高等学校連合会 / 和歌山県私立中学校高等学校協会 / 一般財団法人大阪教育文化振興財団 / 大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会

応募受付 / お問い合わせ

ナレッジイノベーションアワード事務局

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪 ナレッジキャピタル7階 K708
株式会社スーパーフェスティバル内(担当:松田)

TEL 06-6131-6881(平日10:00~18:00)

MAIL kia@kc-i.jp

※選考状況に関するお問い合わせはご遠慮ください。

第8回 ナレッジイノベーションアワード 中学生アイデア部門

アイデア募集中!

未来の仕事 を考える



あなたが考える
“未来の仕事”が
世界を動かす!

応募締切

2021

1月14日

(木曜日)



テーマ

未来の仕事 を考える

※全てご記入ください。

ふりがな お名前	学校名	学年	年(歳)
もしグランプリをとったら 何が欲しいですか？			
■電話番号：自宅 or 携帯(本人) or 携帯(保護者)		■メールアドレス	
連絡先	—	—	—

裏面の応募規定、作品の使用及び著作権について、プライバシーポリシーの内容について確認、同意いただいた方はチェックをお願いいたします。 全てに同意する
※ご応募に關していただきました個人情報につきましては法令その他の規範を遵守いたします。プライバシーポリシーについてはこちらをご覧ください。 <https://kc-i.jp/about/privacy/>

- 自分の仕事を考える前に、まず未来のことを知りたい。
- 今考えている漠然とした将来を一度じっくり考えてみたい。
- 今受けているどの授業でも表現できない未来のイメージを描きたい。

そんなあなたにぜひ取り組んでほしいと思っています。
上位3名には、未来を応援する「ほしいものチケット」をプレゼントします。
ぜひ、この機会にあなたの自由な想像力を発揮してみましょう！

JUMP 未来の仕事を考える

あなたが想像した、20年後の未来にあると思う仕事を具体的に書いてください。
(表現は、文章、イラスト、図など自由です。) ※STEPの内容とつながってなくても構いません。

ヒント ▶ 未来の生活の様子や仕事をしている風景など、あなたが考えたその仕事について、
どのように描けば人に伝わるかを考えましょう。

★ あなたが想像した未来の仕事に
名前をつけてください(仕事名・職業名など)

HQF 自分を見つめる

今のあなたが興味や関心があること、将来自分が活躍したい分野について書いてみてください。
また、その理由も書いてみてください。
ヒント ▶ 「お助けシート 好きを追求したら…」が参考になるかもしれません。

\$STEP 未来を想像する

未来の生活風景はどのようになっているのでしょうか？20年後の「地球環境」「世界情勢」「社会現象」
「生活スタイル」「学校生活」などを想像してください。(表現は、文章、イラスト、図など自由です。)

ヒント ▶ 未来のことについては多くの人が想像、予測を行っています。
本、新聞、テレビやインターネットを使って調べてみましょう。

着地 未来の仕事伝える

あなたが考えた未来の仕事について、なぜその仕事ができるのか、その背景を含めて身近な人に
伝えてみてください。そして、その人の感想や意見など、聞き取った内容をまとめてみましょう。
※感想の内容そのものは、選考に影響しません。

伝えた相手
※例：友達、親、先生など

好きを 追求したら...

お助けシート

新しい仕事をしている多方面の
トップランナーからのメッセージです。
これらのメッセージには、
未来の仕事を考えるためのヒントが
沢山つまっています。
あなたの想像力を発揮して、
20年後の仕事を描いてみましょう。

AC部

さん



映像作家

主に映像を用いた新鮮な表現を日々目指しているクリエイティブチームです。

美術大学の気の合う同級生同士で競って面白いものを生み出し合っていたら、やがてそれが周囲の人にも面白がってもらえて話題になり、仕事に繋がっていきました。我々の制作スタイルは自分が好きなものを作るというより、作品に触れてくれた方々に刺激を与えて何か変化するきっかけになってもらえたら、という気持ちのほうが強いです。そういった状況や現象そのものが「好き」なのかもしれません。もしもみなさんが今やりたいことやなりたいたいものに到達できていないと感じていても、ほんの少し視点や立ち位置を変えてみるだけで道が突然開けたりすることもあります。本当に自分が求めているもの、好きなものって何か？しなやかに追ってみるといいのではないですか！

お仕事の分野

映像 × 刺激

サウンドアーティスト

アート、科学、物理領域を往来し、
独特な音楽表現で周波数による多次元感覚を表現するアーティスト。

幼稚園帰りに石を拾い、それに含まれる素材を図書館で調べるのが好きでした。自分の目につく気になるものを集め、その特徴などを調べ、その素材で遊ぶ可能性に思いをはせていました。妄想、推測、DIY実験が日常の遊びでした。一方、音楽も大好きで、テープレコーダーを使っていろんな音を録音していました。ある日、壊れたレコーダーをなおすために分解して、なぜ金属の針とテープで音が録音できるのか不思議だと思い、電気存在を知りました。また、物心ついた時から、世界の街や建物の映像を見るのも大好きで、いつか旅をしようと思っていました。これら全てが、ずっと心から大好きで、自分なりに調べたり作ったりしていたら今のような世界を飛び回りながら自分の作品を見せて回れるアーティストになっていました。私が音のアーティストになったというより、音私がアーティストになりました。そして毎日物理現象を想像しながら音楽の仕事をしています。

お仕事の分野

音楽 × 物理

田中 義将

さん



信州大学繊維学部応用生物科学科一年
ナレッジイノベーションアワード過去受賞者

生物(クモの糸)を1つの資源として捉え、
その利活用の研究を始める夢に向かって歩き始めています。

幼い時に読んだ絵本「クモさんお返事どうしたの？」で初めて蜘蛛の網に興味を持ち、ジェット機をも止められる可能性、水滴の付いた網の美しさに魅せられました。そして、小中学校の自由研究で船曳和代先生と大崎茂芳先生の本と出会ったことが、好奇心をより一層高めてくれ、この好奇心がいつの間にか好きに変わっていました。クモの餌である昆虫を探すと大変だと、外国では栄養源として食べられている事実から「養昆虫業」を中学3年生の時に考え、ナレッジイノベーションアワードに応募しました。高校2年生では曾祖母が困っている姿から「クモ糸タンパク質コーディネーター」を考え、応募する頃には繊維を仕事にしたいと明確に自覚をしました。現在頑張っているのは、ナレッジキャピタルの皆さんや選考委員である塩瀬隆之先生のご協力で信州大学繊維学部矢澤健二郎先生と出会ったことが大きいと思っています。好きかどうか分からなくていいです。興味がある、知りたい、その気持ちを大切にしてみてください、そこから人の繋がりが生まれ、夢が広がり、好きなことを追求することに繋がります。

お仕事の分野

クモの糸 × 繋がり × ナレッジキャピタル

永松 真依

さん



鯉節伝道師

渋谷で削りたての鯉節が味わえるお店、かつお食堂を運営しています。

鯉節が大好き！という気持ちを五年間追い続け仕事にすることができました。全ての始まりは25歳の頃(現32歳)。当時、別の仕事に就き、特にやりたいこともなくただ毎日を過ごしていた私の人生を変えたのが、鯉節を削る祖母の姿でした。ごちない手つきながらも芯があり、女性としてかっこよくて美しいと感銘を受けました。それがきっかけで鯉節に興味を抱き、全国の鯉節産地を巡る旅を始めました。一年ほど経った時に、鯉節に費やす自由な時間が欲しいと思い、退職。鯉節屋さんでアルバイトをしながら、貯めたお金で旅を続けました。私は、自分の好きなことに価値を置き、お金以上の大切なこととして、とにかく鯉節の魅力を伝えていきたいという信念のもと旅をしながら、ワークショップ開催、マルシェやイベント出店など動き続けました。そして2017年の秋、かつお食堂を誕生させました。好きなことを追い続け、信念を持ち続ける。途中挫折することも何回もありました。本当に好きなのかなと思うこともありましたが、でも、どんな時でも動き続ける、そうすれば必ず何かが見えてくる。今でも動き続けています。止まらない。

お仕事の分野

かつお × 情熱

二木 あい

さん



水族表現家

全てを素潜りで表現し、水中と陸上の架け橋となるべく世界の海から発信する唯一無二のバイオニオ的存在。世界初のギネス記録2種目樹立。

「私たちは、この地球の一員であり、オーナーではない。自然・動物・人間が共に生きていく共存共栄の世界になるには？」を伝えるため、私は素潜り(イルカやクジラと同様に水中に居られるので一番自然)で表現しています。何かが変わるには「頭」で考えてそうするのではなく「心」から本当に「そうだ！」と気づかないとどうしようもないので、直接ココロに訴えられるアートとして水中世界をシェアしています。「好き」という気持ちはとても大事ですが、それだけなら趣味で十分です。仕事にするには、本気で「好き」でないと。そうすると、壁にぶち当たっても、難題に出くわしても、失敗しても、それが先に進む糧となります。私の場合、それらは次に進むためにクリアしなければいけないテストだと思って向き合っています。全ての答えは自分の中にあります。はっきりわからないかもしれないし、目を背けたいかもしれない、だけどウルサイ考えはちょっとお休みして静かに自分と対話してみてください。「あ！」と気づきの瞬間が必ずあるはずですよ。

お仕事の分野

水中 × アート = 気づき

松村 真宏

さん



大阪大学大学院経済学研究科 教授

大阪生まれの大阪育ち。「仕掛学」を創始し、
つい行動したくなる仕掛けの研究・実装・普及に取り組んでいます。

今は仕掛けによって人の行動をデザインする研究をしていますが、もともとはAI(人工知能)に興味があり、大学院で博士号を取得しました。その後、紆余曲折があって、現在は仕掛学について教えています。中高生の感覚からすると、理系から文系に変わっているし、仕掛学なんて聞いたことないし、どんな波乱万丈の紆余曲折があったのかと気になる人もいます。AIはデータがあることが大前提なので、データのない分野には手出しできません。そのことに気づいたので、AIの研究者はいずれこの問題にぶち当たるに違いないと考え、研究テーマを大きく変えました。最初から見えているゴールなんて浅はかなことが多いのですが、本気で追求していると問題の本質が見えてきます。それこそが誰も取り組んでいない未開の土地であり、そこを冒険家のように探検するのが研究者の仕事です。皆さんも自分の好きを追求して、人生を謳歌する冒険家になりましょう！

お仕事の分野

AI × 仕掛け

松本 花奈

さん



映像監督

映画やドラマ、ミュージックビデオなど
様々なジャンルの映像の監督をしています。

私は高校生の時に同世代の友人らと自主制作で映画を作ったことがきっかけで、映像制作が好きになりました。まだまだ年数は浅いですが、「好き」を追求したここ数年で感じたことが二つあります。まず一つ目は、仕事でも人間関係でも、何事にもトラブルはつきものだからこそ「めげない」気持ちが大切だということです。負けても逃げても、諦めても良いけれど、めげない技術は身につけておいて損はないと思います。二つ目は「無駄な時間」などないと思う気持ちの大切さです。仕事は常に遠回りが多く、労力を費やしたからといって必ずしもその努力が報われるわけではありません。映像業界の場合だと、何年もの時間をかけて書いた脚本が結果、お蔵入りになってしまうことなどがしばしば起こります。しかしこれらの時間は決して無駄ではなく、私達の糧となり血となり、骨となっています。必ずです。ロジックではなく直感を信じて、これから皆さんが「好き」と向き合えたら良いなと思っています。

お仕事の分野

撮影 × コミュニケーション